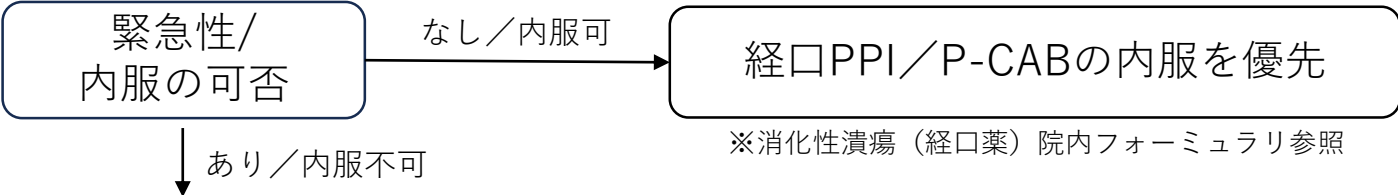


消化性潰瘍（注射薬）院内フォーミュラリ〈PPI〉

監修 消化器内科 島田友香里医長
初版作成 2025.10



参考：各種添付文書
薬価：2025年10月時点

薬剤名	第一 選択薬	オメプラゾール注射用20mg「日医工」	(要時) タケプロン静注用30mg
薬価		339.0円／瓶	452.0円／瓶
適応		・ 出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍および急性胃粘膜病変 ・ Zollinger-Ellison症候群	・ 出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍および急性胃粘膜病変
併用禁忌		リルピピリン塩酸塩（エジュラント）：左記薬剤の作用減弱	
併用注意		● ジアゼパム、フェニトイン、シロスタゾール：これらの作用増強 ● ワーファリン：抗凝固作用の増強，出血のおそれ ● ジゴキシン，メチルジゴキシン：これらの作用増強 ● イトラコナゾール，チロシキナーゼ阻害薬，ゲフィチニブ，エルロチニブ：これらの作用減弱 ● ボリコナゾール：オメプラゾールの作用増強 ● セント・ジョーンズ・ワート含有品：オメプラゾールの作用減弱 ● クロピドグレル硫酸塩：左記薬剤の作用減弱 ● タクロリムス：機序不明，左記薬剤の作用増強 ● メトトレキサート：機序不明，左記薬剤の血中濃度上昇→高用量のメトトレキサート投与する場合は一時的にオメプラゾール中止を考慮	● ジアゼパム，フェニトイン，タクロリムス：これらの作用増強 ● ジゴキシン，メチルジゴキシン：これらの作用増強 ● イトラコナゾール，チロシキナーゼ阻害薬，ゲフィチニブ，ボスチニブ水和物，ニロチニブ塩酸塩水和物，エルロチニブ塩酸塩，アカラブルチニブ，セリチニブ，ダサチニブ水和物，ダコミチニブ水和物，ラパチニブトシル酸塩水和物，カプマチニブ塩酸塩水和物：これらの作用減弱 ● 酸化マグネシウム：左記薬剤の作用減弱 ● ベルモスジルメシル酸塩：左記薬剤の血中濃度低下 ● メトトレキサート：機序不明，左記薬剤の血中濃度上昇→高用量のメトトレキサート投与する場合は一時的にオメプラゾール中止を考慮 ● テオフィリン：左記薬剤の血中濃度低下

薬価がより安く、併用薬が少ない患者の第一選択。
Zollinger-Ellison症候群にも適応あり

薬価が高く、相互作用等でオメプラゾール使用に支障のある患者やオメプラゾールで効果がない場合に選択